

平成30年5月23日

東部農林振興センター出雲農業普及部

<b>標 題</b>	<p>かあちゃんブロッコリー産地再生ビジョン完成！！</p> <p>～常に進化し続けるブロッコリー産地を目指して～</p>
------------	---

(ダイジェスト)

5月15日、JAしまね出雲ブロッコリー部会の第31回通常総会が開催されました。販売実績、活動実績等の報告に続き、昨年度から部会役員を中心に検討を重ねていた「かあちゃんブロッコリー産地再生ビジョン」が提案され、部会全員で活動に取り組むことが同意されました。

総会は部会員約40名、市場関係5社、関係機関が出席し開催されました。

優秀生産者表彰に続き、部会長から新たに始まる大規模ほ場整備に伴う新規参入への期待やGAPの取り組み、さらに、産地再生ビジョンの弛まぬ改善・改革を目指すとともに、ビジョンに掲げた「栽培面積75ha、販売金額2億円」を必ず達成すると決意表明がありました。



〔部会長あいさつの様子〕



〔優秀生産者表彰〕

出雲ブロッコリー部会（S63年設立）は、近年、部会員の高齢化に伴い面積・金額が減少しており、対策が必要でした。そこで、昨年の10月に部会役員を中心にJA、市、県をメンバーとした産地再生プロジェクトが立ち上がり、「労働力確保」、「栽培技術向上」、「後継者対策」、「販売戦略」、「面積拡大」の5つのテーマを中心に検討を重ね、今後の産地について考えてきました。完成したビジョンでは5年後の目標を「栽培面積75ha、販売金額2億円」とし、当普及部でもビジョンの実現に向け、関係機関と連携しながら支援を行っていきます。

(5つの目標)

- ①労働力補完の整備
  - ・集落営農組織と連携し、防除や堆肥散布のサポートシステムを構築する。
- ②担い手育成
  - ・体験圃場をつくり、新規栽培者を確保する。
- ③栽培技術向上
  - ・ブロックごとに相談役を置き、産地全体で栽培技術の向上を目指す。
- ④販売戦略
  - ・美味しまね認証の取得や販売促進などを行い、PR活動を行う。
- ⑤生産拡大
  - ・農地中間管理機構等による新規圃場を斡旋し、土地を確保する。

